

阿部彩『子どもの貧困―日本の不公平を考える』岩波新書 2008 年

第 5 章 学歴社会と子どもの貧困

用語解説

1 学歴社会のなかで

○学歴メリトクラシー論 146

学歴によって将来が決まってしまうというもの。メリトクラシーとは、個人の持っている能力によってその地位が決まり能力の高い者が統治する社会を指す。

3 義務教育再考

○パラサイト・シングル 159

学卒後も親に基本的生活を依存しながら、リッチな生活を送る未婚者のこと。親に家事を任せ、収入の大半を小遣いに充てることができ、時間的・経済的に豊かな生活を送っている。

○貧困線 170

最低限保障されるべき生活水準のこと。
社会学や経済学の指標であり、貧困状態にある住民を減らすため、必要な社会政策を決定するのに有効である。貧困線を計算する基本の手法は、1 人の成人が 1 年間に最低限必要な物の購入費用を積み立てていく方法がとられる。

4 「最低限保障されるべき教育」の実現のために

○ヘッド・スタート 173

低所得の未就学児童に早期学習環境を用意する教育プログラムのこと。1965 年からアメリカで実施されている。対象児童の年齢は、3 歳と 4 歳、親の所得が公式貧困線以下の子どもを中心としている。